

2024 JUA/AUA Academic Exchange Program 参加報告

永井 隆 (名古屋市大)

このたび、サンアントニオで開催された AUA 2024 に引き続き、2024 年度の JUA/AUA Exchange Program に参加させていただきましたので、ご報告いたします。

2024 年 5 月 3 日より AUA 2024 に参加し、1 演題のポスター発表を行いました。AUA 開催期間中は、本プログラムで東京慈恵会医科大学の占部文彦先生と共に行動しました。私たちは、各国のプログラムで採択された先生方と共に、AUA 側から手厚く歓迎を受けました。また、今回の AUA に参加して嬉しかったことの一つは、2019 年のアジア泌尿器科学会 ASIAN Urology Residents' Course で知り合った Dinno Mendiola 先生（フィリピン出身、現在は Miami 大学で勤務中）と 5 年ぶりに再会できたことです。このような縁も、JUA からのサポートがあつてのことだと深く感謝しております。

5 月 6 日よりサンアントニオからフィラデルフィアに移動し、5 月 31 日までの約 3 週間、ペンシルベニア大学病院および関連施設で診療を見学させていただきました。フィラデルフィアはアメリカで独立宣言がされた地で、歴史的な風情のある街です。治安の悪い場所もあると言われていますが、ペンシルベニア大学病院やその関連施設のあるユニバーシティシティおよびセンターシティは比較的安全的な地域でした。特にユニバーシティシティはペンシルベニア大学やドレクセル大学がある文教地区で、学生の多い活気のある街でした。

ペンシルベニア大学病院での見学は主に手術見学でし

た。手術は朝 7 時半から始まるため、レジデントたちはそれよりも早く出勤し、それぞれの受け持ち患者のカンファレンスをしていました。このパワフルなレジデントたちの自主性や積極性は見習うべき姿勢だと感じました。それもそのはずで、レジデントたちは激しい競争を勝ち抜き、ペンシルベニア大学病院でトレーニングを受けています。レジデント同士は仲間であり、ライバルであるということをひしひしと感じました。ロボット手術においては、前立腺全摘、腎（尿管）摘除、腎部分切除、膀胱全摘のいずれの手術もチーフレジデントが執刀しており、とても驚きました。どの手術もダブルコンソールで行われており、指導医の指導も事細かに行われており、充実した教育体制だと感じました。時間がオーバーしそうになると、Thomas J. Guzzo 教授が手術室に現れ、あっという間に手術を終わらせてしまうことも印象的でした。また、フィラデルフィア小児病院では Aseem Shukla 教授の手術見学や、術後の病棟回診の見学もさせていただきました。Shukla 教授のスムーズな手術技術だけでなく、手術室でのスタッフとのコミュニケーションや、患者やその家族に対する真摯な説明を見て、謙虚で卓越した診療姿勢に感動しました。また、手術室では、certified registered nurse anesthetist による麻酔や、physician assistant による手術助手など、日本では一般的でない役割が手術全体をサポートしていることが強く印象に残りました。適切な役割分担による仕事の最大限の効率化が、アメリカの発展に繋がっているのだと再認識しました。

毎週朝 6 時半から開始される、いわゆる医局会に相当するペンシルベニア大学泌尿器科カンファレンス (web)



写真 1 占部文彦先生 (左) と筆者 (右)



写真 2 Miami 大学の Dinno Mendiola 先生 (左) と筆者 (右)



写真3 筆者(左)とチーフレジデントの Victor E. Otaño Rivera 先生(右)



写真5 筆者(左)と竹川大貴先生(右)



写真4 レジデントの Margaux M. Johnson 先生(左)と筆者(右)



写真6 Aseem Shukla 教授(左)と筆者(右)

にも参加させていただきました。私もこれまでの研究について発表する機会をいただき、とても貴重な経験となりました。

また、手術見学中に麻酔科の Huafeng Wei 教授から、「麻酔科で基礎研究をしている日本人がいるから交流すると良い」とお声掛けいただき、弘前大学の竹川大貴先生をご紹介いただきました。竹川先生のご案内で、ペンシルベニア大学の研究室を見学させていただき、充実した研究留学のお話をお伺いしました。

休日には市内観光や野球観戦などを楽しみました。街全体が熱狂的なフィリーズのファンといった印象で、応援に非常に熱が入っていました。また、Shukla 教授にはホームパーティーにお招きいただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。AUA/JUA Academic Exchange

で秋田大学に短期留学された Daniel J. Lee 先生にもお忙しい中、食事に連れて行っていただき、お世話になりました。

最後に、今回の exchange program に参加するにあたり、多くの方々にお世話になりましたので、この場をお借りして御礼を申し上げます。本プログラムにご推薦いただきました名古屋市立大学の安井孝周教授、および快く送り出していただいた医局の皆様、そして日本泌尿器科学会国際委員会の先生方ならびに JUA・AUA の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。